

# 進路だより

広島県立西条特別支援学校

進路指導部 No.2

平成30年10月10日

夏季休業中に教職員による事業所見学を実施しました。今年度は7月31日に『社会福祉法人 倫「黒瀬ありんこ」』、8月3日に『社会福祉法人 たまご会 障害者活動センター』の2事業所を見学しました。「黒瀬ありんこ」は昨年5月に本校にて行われた事業所説明会で施設の成り立ちや概要をお話くださったので、実際の作業の様子や利用者の方々の様子を見て卒業後の生活の様子をよりイメージすることができました。「たまご会」はこれまで本校とはご縁がなかったのですが、医療的なケアも充実されており、またこれから生徒たちがお世話になる可能性が大きかったため、今回見学させていただくことになりました。卒業後はいろいろな進路選択がなされますが、研修を深めることで児童生徒のより良い生活のために福祉サービス・支援の利用方法を知ることや、卒業後の豊かな生活をめざす進路指導に生かしたいと考えています。

## 社会福祉法人 倫 生活介護事業所「黒瀬ありんこ」

### 「多機能事業所 就労サポート ありんこ」

### 就労継続支援B型「ありんこBジョブ」

社会福祉法人 倫 は「黒瀬ありんこ」「多機能事業所 就労サポートありんこ」「ありんこBジョブ」の3か所を見学しました。人間を尊重し、「やさしさ」「思いやり」「けじめ」を合い言葉にされ利用者が楽しく過ごせる場として、さまざまなサービスを展開されています。平成6年1月に無認可小規模作業所を開所されて以来、現在では生活介護事業や日中一時支援、相談支援事業などにも取り組まれています。

「ありんこBジョブ」では地域の方々との交流の場、そして利用者の生産活動の場として「喫茶なごみ」を運営されています。ここでは近隣にある障がい者施設の自主製品も販売されています。利用者のほとんどの方は自力で通われており、喫茶の仕事だけでなく



清掃事業や近隣菓子店の製品へのシール貼り、環境商品の制作、筆会社の化粧箱作りなど行われています。生活リズムを整えることや自分自身での体調管理を課題とした利用者の方が多くいることから、時間を決めて作業をおこなっていたり、体調に応じて休息をとれるよう静養室が整っていたりと、利用者の方の実態に応じた環境づくりがされていました。

「多機能事業所 就労サポート ありんこ」ではいろいろな生産活動を通して、就労に必要な知識の習得や能力向上のための訓練を行い一般就労に向けての支援を行われています。年間通して盆灯籠づくり



や環境商品「アカパッケン」づくり、自主製品「トイレのゆずちゃん」づくり等が行われています。本校の卒業生が自分の役割に責任をもち、黙々と作業されている姿が印象的でした。

「給食センターありんこ亭」では、給食盛り付けや食器洗浄を行い利用者へ給食を提供しています。黒瀬を中心にしてお弁当の注文配達等行われています。

「黒瀬ありんこ」は生活介護事業所として利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう食事介護や入浴・機能訓練や健康管理の支援・創作活動や生産活動の支援を行っています。

また日帰りの日中一時支援「ショートステイありんこ」や豊かな生活を送れるように「相談支援事業所ありんこ」で相談・支援が行われています。



## 社会福祉法人 たまご会「障害者活動センター たまご会」

### 「生活介護センターたまご」「レスパイトルームたまご」

社会福祉法人 たまご会 では、同一の建物内にある「障害者活動センターたまご」「生活介護センターたまご」「レスパイトルームたまご」を見学しました。平成14年4月に呉市郷原で、障害者活動センターたまご(通所授産施設)と知的障害者デイサービスセンターたまごを開設され、その後もショートステイ(短期入所)施設、グループホーム、児童デイサービスなど、幅広くサービスを展開されています。



「地域で当たり前のように生活したい」という障害者のねがいを実現するために、福祉の原点である「ゆりかごから墓場まで」を掲げ、総合的な社会福祉活動に取り組まれています。

「障害者活動センターたまご」には「就労継続支援 B 型」「生活介護事業」があり、「就労継続支援 B 型」ではクッキーやアイスクリームの製造・販売や、国立呉医療センターでの清掃作業を通して地域との交流を図っておられます。また、「生活介護事業」では利用者の方それぞれの生活リズムに合うようグループごとに創作活動や自主製品作り、農作業などの活動をされています。



「生活介護センターたまご」では知的障害のある方々が生活のリズムを作り、健康管理維持・増進、生きがいの高揚を図り、ライフステージを積極的に支援することを基本において、様々な活動に取り組んでおられます。主には、排泄及び食事の介護の提供、創作的活動又は生産活動の機会の提供、身体機能及び日常生活の維持向上のための支援の提供が行われています。

双方とも 送迎サービス・給食サービス・入浴サービスを充実させ快適な日常生活を保障する取り組みをされています。



「レスパイトルームたまご」では、短期入所（ショートステイ）と日中一時支援の事業を展開されており、一日 4 人を定員とした短期入所の施設がありました。7 月の豪雨を受け、環境の変化などを課題とする利用者の方へ緊急時に備えた外泊の練習として、今後は計画的かつ意図的に活動の一環として利用してもらうことも考えておられました。そのほか、生活リズムを整える目的でも宿泊できるとのことでした。

